資料8

捕獲対策関連事業

●令和２年度 エゾシカ対策推進費（継続：道費）

予算額 **11,373** 千円（前年度　11,740 千円）

1　事業目的

鳥獣保護管理法の規定により策定した北海道エゾシカ管理計画に基づき、エゾシカの個体数を適正に管理し、被害の低減を図る。

2　事業内容

○協議会、エゾシカ対策有識者会議の開催

○ライトセンサス調査、捕獲状況調査等経費

● 令和２年度　エゾシカ指定管理鳥獣捕獲等事業費（継続：指定管理捕獲等事業交付金）

予算額 79,712千円（前年度　72,565千円）

1　事業目的

エゾシカ管理計画の捕獲目標達成のため、関係機関と連携し、鳥獣保護管理法第14条の2に基づく指定管理鳥獣捕獲等事業を計画的に実施する。また、捕獲効率の低い低密度生息域における捕獲効率の向上を図るため、エゾシカ誘導捕獲をモデル的に実施し、誘導効果の検証を行う。

2　事業内容

○捕獲事業

鳥獣保護区など市町村等による捕獲が困難な地域において、認定鳥獣捕獲等事業者等による捕獲を実施する。

○誘導捕獲技術実証事業

低密度生息域におけるエゾシカ誘導捕獲のモデル実施と誘導効果の検証を行う。

○生息状況調査

捕獲事業の実施に必要なエゾシカの生息状況調査等を実施する。

○コーディネーター養成研修

関係機関との連携強化を目的とした振興局職員向けの研修を実施する。

●令和２年度エゾシカわな ICT 捕獲管理体制実証事業費（継続：鳥獣被害防止総合対策交付金）

予算額　4,614 千円（前年度 4,585 千円）

1　事業目的

エゾシカの捕獲対策を推進するため、ICT の活用によるくくりわなの捕獲管理体制の省力化について検証を行う。

2　事業内容

ICT（わな管理自動通報システム）を活用したくくりわなによる捕獲を実施し、わな捕獲管理体制の省力化について検証を行う。

●令和２年度エゾシカジビエ利用拡大推進事業費（継続：指定管理鳥獣捕獲等事業交付金）

予算額　120,969 千円（前年度 121,000 千円）

１　事業目的

エゾシカジビエの利用拡大を推進するため、狩猟者の育成を図るとともに、食肉処理施設への搬入経費及び廃棄物処理経費に対する支援等を行う。

２　事業内容

〇狩猟者育成講習の開催

狩猟免許所持者を対象として、エゾシカの食肉利用に係る衛生管理知識及び食肉利用を前提とした捕獲技術取得のための講習会を開催する。

〇狩猟者への支援

狩猟により捕獲したエゾシカを食肉処理施設に搬入するための経費（２頭目以降）に対する支援を行う。

〇食肉処理施設への支援

本事業に伴い発生する廃棄物の処理経費及び事務経費に対する支援を行う。

※　このほか、捕獲対策関連経費として、エゾシカ緊急対策交付金（地域づくり総合交付金）がある。

【指定管理鳥獣捕獲等事業実績一覧】（H27～R1）

年度	振興局	市町村	規制状況	猟法	捕獲手法	捕獲実績（頭）
H27	日高	えりも町	国定公園等	銃猟 わな猟		55
	宗谷	稚内市 豊富町	道保護区等	銃猟 わな猟		71
	オホーツク	北見市	道保護区等	銃猟		20
	十勝	上士幌町	道保護区等	銃猟 わな猟		43
	釧路	浜中町	道立自然公等	わな猟		23
	小計					212
H28	空知	三笠市	道保護区	銃猟 わな猟		45
	胆振	苫小牧市	道保護区	銃猟 わな猟		202
	渡島	函館市	道保護区等	わな猟		25
	根室	根室市	道立自然公園等	わな猟		74
	小計					346
H29	渡島	函館市	道立自然公園	銃猟 わな猟		12
	胆振	登別市	道保護区等	銃猟 わな猟		56
	日高	えりも町	シカ捕獲禁止区域	わな猟		17
	釧路	釧路市 浜中町	道保護区等	わな猟		108
	根室	根室市	特定猟具禁止区域(銃)	わな猟		108
	オホーツク	北見市	道保護区等	銃猟 わな猟		48
	宗谷	浜頓別町	道立自然公園	わな猟		4
	小計					353
H30	胆振	苫小牧市 厚真町	特定猟具禁止区域（銃）	銃猟 わな猟		178
	日高	えりも町	シカ捕獲 禁止区域	わな猟		39
	渡島	函館市	道保護区等	わな猟		61
	宗谷	稚内市	道保護区	わな猟		26
	オホーツク	北見市	道保護区等	銃猟 わな猟		44
	十勝	広尾町	道保護区	わな猟		70
	釧路	鶴居村	特定猟具禁止区域（銃）	わな猟		51
	根室	根室市	特定猟具禁止区域（銃）	わな猟		103
	小計					572
R1	胆振	苫小牧市 厚真町	特定猟具禁止区域（銃）	わな猟	括り	213
	日高	えりも町	シカ捕獲禁止区域	わな猟	囲い 箱	1
	渡島	函館市	道立自然公園	わな猟	囲い 括り	60
	檜山	厚沢部町	道保護区	わな猟	括り	2
	宗谷	稚内市	道保護区	わな猟	囲い	39
	オホーツク	北見市	道保護区等	銃猟 わな猟	忍び 巻狩 括り	61
	十勝	広尾町	道保護区	わな猟	囲い 箱 括り	29
	釧路	釧路市	道保護区	わな猟	囲い	55
	根室	根室市	特定猟具禁止区域（銃）	わな猟	囲い	88
	小計					548
H27～R1合計						2,031

令和元年度（2019年度）エゾシカジビエ利用拡大推進事業

事業結果

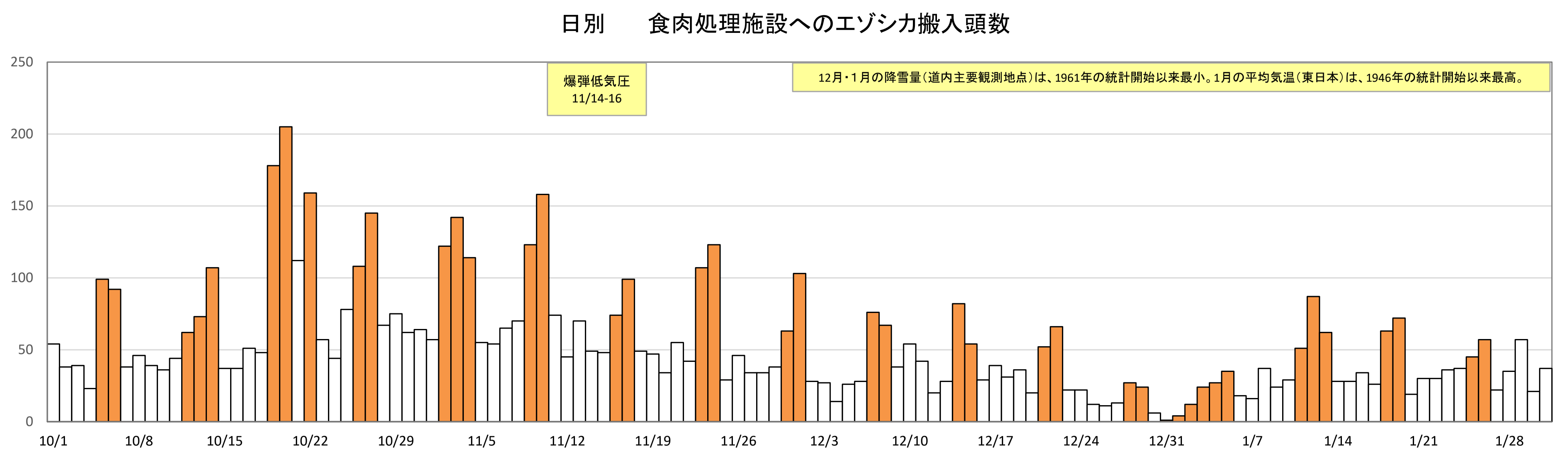
			昨年度
事業参加者数		**985 名**	1,171名　（－186）
	うち搬入実績のない者	650 名	845名　（－195）
	うち搬入実績が１頭の者	42 名	26名　（＋　16）
	うち搬入実績が２頭以上の者	293 名	300名　（－　7）

搬入総数		**6,638 頭**	7,425頭　（－787）
	うち搬入２頭目以降の頭数	6,303 頭	7,099頭　（－796）

1人あたりの搬入頭数別　食肉処理施設へのエゾシカ搬入実績

搬入頭数の区分	搬入頭数	比率	うち２頭目以降	該当人数	比率
～　1 頭	42	0.6%	0	42	12.5%
2　～　10 頭	671	10.1%	537	134	40.0%
11　～　20 頭	812	12.2%	756	56	16.7%
21　～　30 頭	952	14.3%	915	37	11.0%
31　～　40 頭	622	9.4%	605	17	5.1%
41　～　50 頭	806	12.1%	788	18	5.4%
51　～　75 頭	874	13.2%	859	15	4.5%
76　～　100 頭	678	10.2%	670	8	2.4%
101　～　頭	1,181	17.8%	1,173	8	2.4%
合計	**6,638**	100.0%	6,303	**335**	100.0%

令和元年度　エゾシカジビエ利用拡大推進事業



月別　搬入頭数

月	日数	搬入頭数	割合
10	31	2,317	34.9%
11	30	2,120	31.9%
12	31	1,098	16.5%
1	31	1,103	16.6%
合計	123	6,638	100.0%

平日・休日別　搬入頭数

	日数	搬入頭数	割合
平日	80	3,188	48.0%
休日	43	3,450	52.0%
合計	123	6,638	100.0%

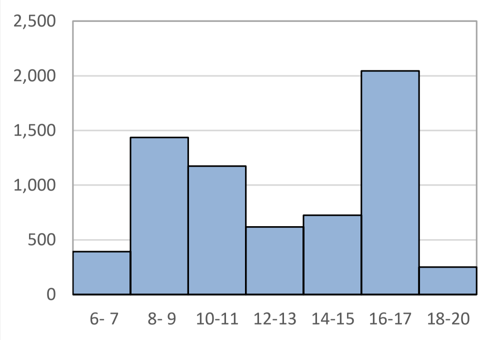
※休日…土日祝日及び年末年始（12/29～1/3）
※国有林及び道有林における平日の銃猟は禁止

曜日別　搬入頭数

曜日	日数	搬入頭数	割合
月	17	834	12.6%
火	18	816	12.3%
水	18	680	10.2%
木	18	657	9.9%
金	18	690	10.4%
土	17	1,359	20.5%
日	17	1,602	24.1%
合計	123	6,638	100.0%

搬入時刻別　搬入頭数

搬入時刻	搬入頭数	割合
6-7 時台	391	5.9%
8-9 時台	1,435	21.6%
10-11 時台	1,175	17.7%
12-13 時台	618	9.3%
14-15 時台	725	10.9%
16-17 時台	2,044	30.8%
18-20 時台	250	3.8%
合計	6,638	100.0%



令和２年度　ジビエ有効利用関連事業について

○　エゾシカジビエの利用拡大、ブランド化、認証施設の優位性確保を図るため、次の事業を実施

１　新 エゾシカ利活用による「稼ぐジビエ」マーケティングモデル創出事業

※ 重点施策「食の魅力や価値の向上と世界への展開」プロジェクト　【予算額 10,077千円】

安全・安心なエゾシカ肉を提供する認証施設の優位性を高め、高品質なエゾシカ肉の更なる流通拡大を実現するためのマーケティングモデルを創出する

・ＳＮＳや動画配信サービスなどを活用した動画コンテンツを開発・普及することにより、認証肉のブランド化を推進
・認証肉のＧＩ登録をめざし、関係団体との連携による検討会を開催
・認証施設の人材確保のため、大学生等のインターンシップを実施

２　エゾシカジビエ利用拡大推進事業　【予算額　120,969千円】

エゾシカジビエの利用を拡大するため、食肉処理施設への搬入経費や廃棄物処理経費を支援する

・狩猟捕獲したエゾシカの食肉処理施設への搬入経費を支援（１頭8,000円）
・食肉処理で発生した廃棄物処理経費等を支援（１施設あたり2,000千円上限）

３　エゾシカ有効活用推進事業　【予算額　6,909千円】

本道固有の資源であるエゾシカの有効活用を推進するため、認証制度を運用するとともに、家庭・レストランなどにおける利用機会の拡大を図る

・エゾシカ肉処理施設認証制度の運用
・認証取得を希望する施設への専門家の派遣・助言
・エゾシカの利活用等に係る普及啓発を図るため、出前講座を実施
・レストランのシェフ等を対象に、認証制度等の紹介プロモーションを実施（首都圏、十勝）

エゾシカ有効活用の取組（令和元年度）について

１　道内でのエゾシカ肉等のＰＲ

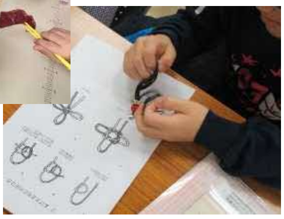
（１）出前講座

一般向けセミナーや小中高校にシカ肉栄養特性等に関する出前講座、試食、エゾシカ革・角を活用したストラップ作りを実施（７回、１８１名）。

- ○　北オホーツク道立自然公園の魅力再発見！(7/20 講義・試食　26名)
- ○　帯広緑陽高校（9/2 講義・試食　23 名）
- ○　自然観察会(10/5 講義・試食　13 名)
- ○　大樹高校（11/20 講義・試食　22 名）
- ○　緑苑台小学校（11/22 講義・試食　70 名）
- ○　幕別高校（12/10 講義　17 名）
- ○　鷹栖町エゾシカ出前講座（12/21 講義・試食　10 名）

（２）イベント出展

各種イベントやスポーツ大会等に、ＰＲブースを出展。



- ○ 6/11～12　北海道産品取引商談会
- ○ 7/ 6～ 7　道産子感謝Ｄａｙ
- ○ 8/ 1　道庁職場見学デー
- ○ 8/12～13　環境広場さっぽろ
- ○ 8/29～30　北海道獣医師学会でのペットフードＰＲ
- ○ 9/8　道民森づくりの集い
- ○ 9/14　動物愛護週間でのペットフードＰＲ
- ○ 9/17～18　エゾシカパネル展（北海道庁 1F ロビー）
- ○10/30～11/2　エゾシカパネル展（アリオ札幌）
- ○11/16　エゾシカまつり（北海道博物館）
- ○12/9～13　消費者の部屋　展示会場（農林水産省）
- ○ 2/16　レバンガ北海道ホームゲーム会場でのＰＲ（北海きたえーる）

（３）エゾシカ料理セミナーin 旭川(10/16、旭川市)

エゾシカをレストラン等で活用いただくため、シェフを対象としたセミナーを開催。レストラン　リヴィエールの小竹シェフを講師に招き、エゾシカの魅力や調理法などを紹介するセミナーを開催。道内各地から 28 名が参加。

（４）エゾシカウィーク（2/1～16　道内各地）

さっぽろ雪まつり等で観光客が増加する時期に合わせ、期間中エゾシカ料理を提供する消費拡大キャンペーンを実施し、道内各地計 157 店舗が参加。

（５）包括連携協定に基づく取組

・コープさっぽろ(30 店舗（うち 12 店舗は加工品のみ）)、イオン北海道(19 店舗)でのエゾシカ肉取扱い

・イオン会合同見本市(4/17～18)でのＰＲブース出展

・NEXCO 東日本でエゾシカメニューコンテスト(10/21)、PA・SA でのメニュー提供とスクラッチカードキャンペーンを実施（10/22～12/31）

（６）各（総合）振興局のイベント出展・取組等

・振興局内の食堂及び売店等でのエゾシカ料理の販売

・振興局による動物愛護週間でのエゾシカペットフード PR

・ジビエ・de・そらち【空知総合振興局】

・食べる・たいせつフェス（9/15　音更町）【十勝総合振興局】

・ツリーフェスティバル 2019in ほんべつ（10/6 本別町）【十勝総合振興局】

・エゾシカフォーラム（10/17　帯広市）【十勝総合振興局】

・「根室ディア」試食会（1/28　中標津町）【根室振興局】

・「狩猟の魅力！深～く野生を感じてみよう」(2/8　稚内市)【宗谷総合振興局】

２　道外でのエゾシカ肉等のＰＲ

（１）エゾシカ料理セミナーin 大阪(10/2、大阪府)

エゾシカを関西圏のレストラン等で活用いただくため、枝肉の解体の実演や、ホテルグランヴィア大阪の川本シェフによる調理実演により、エゾシカの部位ごとの特徴や、それに適した調理法を紹介するセミナーを開催。関西圏の 52 名が参加。

（２）エゾシカ革PRイベントin東京(11/20～22、東京都)

エゾシカ革の持つ特性や魅力をＰＲする資料を作成、配布した。

エゾシカ革製品の認知度向上や実際に触れる機会を提供するため、首都圏でのイベントに出展、来場者にエゾシカ革の魅力について啓発した。

３　おいシカ！エゾシカ！Facebookページ開設

エゾシカ有効活用に関する取組の更なる推進を図るため、広報活動ツールの一つとしておいシカ！エゾシカ！Facebookページを開設しました。

エゾシカ有効活用に関する情報を随時発信していきます！

URL及び2次元バーコードを読み込みすると確認できます。

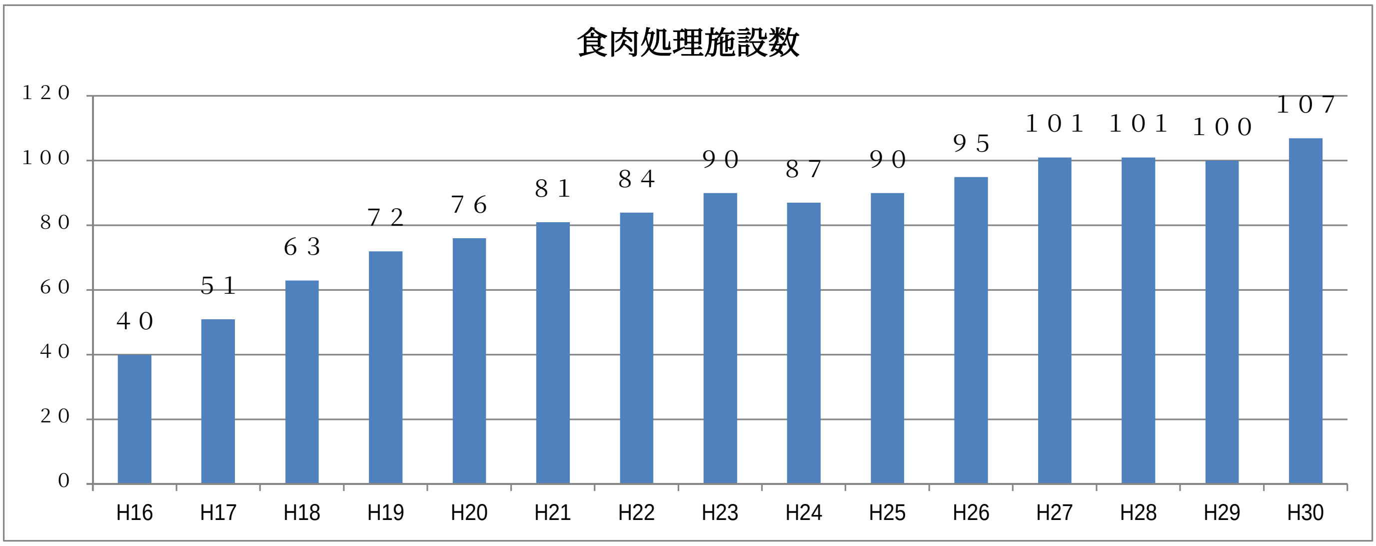
https://www.facebook.com/おいシカエゾシカ-111985480334765/

おいシカ！エゾシカ！
毎月第４火曜日は シカの日

道内におけるエゾシカの処理状況　(H16～H30年度)

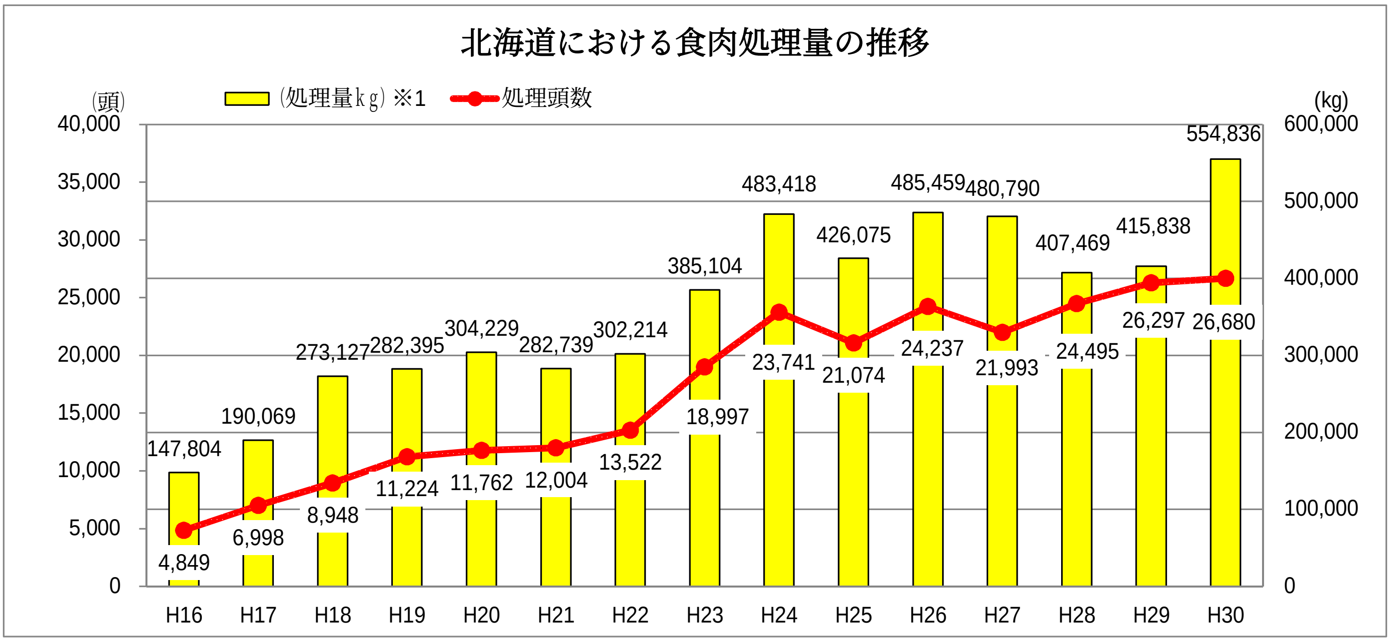
1　食肉処理施設数

年　　度	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
施 設 数	40	51	63	72	76	81	84	90	87	90	95	101	101	100	107
(実績あり)	(37)	(45)	(54)	(69)	(64)	(63)	(61)	(71)	(69)	(75)	(79)	(79)	(86)	(79)	(88)



2　処理頭数

年　度	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
処理頭数	4,849	6,998	8,948	11,224	11,762	12,004	13,522	18,997	23,741	21,074	24,237	21,993	24,495	26,297	26,680
捕獲頭数	69,708	78,357	71,546	72,956	82,972	97,356	109,120	137,632	144,414	132,239	137,021	124,626	120,413	128,104	112,232
(処理量kg) ※1	147,804	190,069	273,127	282,395	304,229	282,739	302,214	385,104	483,418	426,075	485,459	480,790	407,469	415,838	554,836
(利活用率%)※2	7.0	8.9	12.5	15.4	14.2	12.3	12.4	13.8	16.4	15.9	17.7	17.6	20.3	20.5	23.8

※1　枝肉、ブロック肉を仕入れて加工する施設分を含む。

※2　捕獲頭数に占める食肉処理施設で処理された頭数の割合。